

# 勇者魔王を 求める





自分でも  
わからない

どうして  
あんな事したのか



ただ、ぬくもりが  
欲しくって？

それとも

私、真奥のいっしょ

数時間前















なんでこんな事  
しちゃったか  
—なんて…

分かり  
たくない

えっ…

恵美？  
寒い—

分かり  
たくないの







いつも強気な  
恵美がー

俺の手で  
こんな…

んっ…んっ…  
んっ…んっ…

んっ  
んっ

んっ  
んっ  
んっ  
んっ



なあ  
恵美…

本当にいいの？  
俺、誰にも  
言わねえし  
今ならまだ…

んっ  
んっ

ちよ、待っ  
おまえ…!?

…えっ!

んはあッ

おあ!

んはあッ

くウ…

んはあッ

んはあッ

はーはー



もっもっ

もっもっ...

ほっほっ



はははははは

はははは



あははは

あははは



恵美...

あははは



なにこれ...

なに...

あははは

ズンズン

ズンズン



もう♡  
♡♡♡♡♡

あ♡

私



魔王のチンコで

イツひやう…!!



髪を撫でて

お父さん  
みたいに。



魔王ってどんな  
ヤツなのかな

いつ会うの  
かなーって



お父さんと  
離れてから…

ずっとあなたを  
追いかけてた



あなたが私を  
知らない頃から…



この心も  
身体も

魔王の為に  
育てられてきたの

だから  
構わないで…

わたし  
勇者を  
犯してよ

真奥  
魔王!!

はぁ  
もっ…

もっ…  
真奥  
もっ…



それから私達は  
時間を忘れて  
快楽を貪りあった  
—これが—

また  
イク：

イクウー！

世界に対する  
背徳行為だと  
現実からの逃避だと

頭のどこかで  
わかっていても

まおこの  
せーし

中

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

あーん

やめる事は出来なかった



